



三中だより

2025年7月18日

7月号

調布市立第三中学校

「自分の時間を大切に」

校長 児山 友美

本日、令和7年度1学期の終業式を迎えました。保護者、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。いつも温かく見守っていただき、心強く思っております。日々の生活の中では気付きにくいこともありますが、授業や行事、部活動等、この4か月間で生徒たちの成長を感じる場面が多くありました。例えば、運動会での「全力で取り組む姿」「協力し合う姿」「あきらめずに挑戦する姿」は、共に高め合いながら生徒たちが成長していることを感じました。失敗することもあったと思います。でも、その失敗をばねとし、次はもう少し、さらにもう少し、と少しずつ成長しています。その「少しずつ」の積み重ねが大切であると考えます。これからも、学んだことを振り返り、自分の成長を感じながら次のステップに向けて力を伸ばして欲しいと思います。

さて、いよいよ明日からは、44日間の夏休みとなります。1日は24時間、44日間で1,056時間になります。これは、どんな人にも平等に与えられています。その時間を「どう使うか」は、人によって大きく違います。この時間を皆さんはどのように過ごすのでしょうか。もちろん、リラックスする時間も必要です。でも、もし毎日を「なんとなく」で過ごしていたら、あっという間に44日間は過ぎていきます。例えば、宿題の取り組み方も人によって違います。「明日からやればいいや」「楽しいことを先にやって、嫌なことや面倒なことはあとでやろう」とやるべきことを後回しにするタイプの人もいれば「宿題は終わったから、スッキリした気持ちで思いっきり楽しみたい」というやるべきことを先に終わらせるタイプの人もいます。どちらのタイプでも大事なものは、「自分で時間の使い方を決めているかどうか」です。そして、計画通りにいかないときにどう調整していくかです。これから夏休みを迎えるにあたって、ぜひ、「自分の時間をどう使うか」を考えてみて欲しいと思います。自分の時間を大切に、有意義な夏休みとなることを願っています。2学期の始業式で、さらに成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

夏休みは、家庭で過ごす時間が多くなります。保護者、地域の皆様には生徒たちを温かく見守り、支え育てていただきますよう、よろしくお願いいたします。

2年生による職場体験

7月2日より3日間、2学年生徒が職場体験に参加しました。体験先は飲食店、小売販売店、美容院、保育園、介護施設など多岐に渡り、今年度も多くの事業者様にご協力いただきました。生徒達にとっても将来において職業について学び、考える期間となったことと思います。また、期間中は近隣地域にて体験中の本校生徒を見かけた方から「頑張っていましたね」と暖かいお言葉も頂戴しました。



ゆめおり陸上クラブ出前授業

6月27日にゆめおりクラブによる陸上競技出前授業が行われました。講師として指導に当たってくださった方々は国内外の大会で活躍された経験をお持ちです。今回は2年生生徒が保健体育の授業において走り高跳びの指導を受けました。

小学生向け三中説明会

7月11日に本校学区小学校4校（第二小、布田小、杉森小、染地小）の6年生児童を招待して「小学生向け三中説明会」を行いました。生徒会役員を中心に企画を立て、当日は学校生活を演劇とクイズで紹介し、小学生からは歓声もあがりました。また、小学生からの質問に答えるコーナーでは、多くの小学生からユニークな質問を受ける場面もあり説明会を盛り上げてくれました。

